

訓練参加者アンケート結果（宝来町）

(1) アピタ島田店参加者 63 人（男性 54 人 女性 9 人）：地元市民、消防団員

- ・ 国民保護サイレン音を聞いて、緊張感を感じましたか？
- ①あまり（全く）感じなかった 19 件（約 31%）
- ②なんとなく感じた 17 件（約 28%）
- ③適度（必要以上）に感じた 25 件（約 41%）
- ・ 落ち着いた行動はできたか？ Yes 55 件 No 1 件
- ・ 避難のための行動時間は？ 充分だった 40 件 短い 15 件
- ・ 今後も避難行動が出来るか？ Yes 34 件 No 18 件

(2) 市職員 52 人（男性 38 人 女性 14 人）：アピタ、ケースデンキ、ジャンボエンコー、蓬莱橋

- ・ 国民保護サイレン音を聞いて、緊張感を感じましたか？
- ①あまり（全く）感じなかった 24 件（約 47%）
- ②なんとなく感じた 11 件（約 22%）
- ③適度（必要以上）に感じた 16 件（約 31%）
- ・ 落ち着いた行動はできたか？ Yes 47 件 No 4 件
- ・ 避難のための行動時間は？ 充分だった 36 件 短い 16 件
- ・ 今後も避難行動が出来るか？ Yes 30 件 No 22 件

(3) 宝来町周辺総計 115 人（男性 92 人 女性 23 人）

- ・ 国民保護サイレン音を聞いて、緊張感を感じましたか？
- ①あまり（全く）感じなかった 43 件（約 38%）
- ②なんとなく感じた 28 件（ 25%）
- ③適度（必要以上）に感じた 41 件（約 37%）
- ・ 落ち着いた行動はできたか？ Yes 102 件 No 5 件
- ・ 避難のための行動時間は？ 充分だった 76 件 短い 31 件
- ・ 今後も避難行動が出来るか？ Yes 64 件 No 40 件

(1) その他意見（地元市民・消防団員）

- ・ 訓練の必要性を感じた。 ほか 1 件
- ・ 大変良い経験になった。 ほか 3 件
- ・ 同じ訓練を繰り返すことで、自然と行動できると思う。 ほか 2 件
- ・ 危機感があまりなかった。
- ・ 自宅に居る場合、どうしたらよいのか？
- ・ 9 月に北海道で実際に経験した時は、何をしていたのか判らなかつた。
- ・ お年寄りや子供への思いやりを忘れていた。
- ・ カゴを被ることは、参考になり、今後活かします。
- ・ 集団心理で、流されてしまうと感じた。
- ・ 女性の参加が少ない。

- ・弾道ミサイルが飛んでくるとどのような状況になるのか説明してほしい。
- ・Jアラート音が小さかった。気持ちの悪い音であるが、短かった。
- ・ミサイルが発射されたら、怖い。
- ・ありがとうございました。 ほか1件
- ・訓練と実際では、違うと思う。
- ・音が聞けて、今後のためになった。参加して良かった。
- ・Jアラート音をびっくりするような音や気にとめる不快な音にした方が良い。 ほか1件
- ・空襲警戒訓練ですね。
- ・あまり意味がない。日頃、家族で話し合っておくことが大事と思った。
- ・スマホ等に連絡が入れば良いと思う。

(2) その他意見（市職員）

- ・情報の共有や避難地などお互いの協力が必要。
- ・サイレンの音が思ったより小さいと感じた。 ほか13件
- ・店舗等がない場合、建物避難は難しい。落ち着いた行動で、ベストな選択をしたい。
- ・待ち時間が長い。メールの着信音も聞こえにくかった。
- ・現状ではただ不安を煽るだけで、意味のあるものとは思えない。
- ・アピタの警備員や従業員の誘導に緊迫感が無かった。
- ・参加者にペット茶やパンを配布していたが、経費の無駄では？
- ・携帯のアラーム音を想像していたため、屋内避難に考える時間があった。
- ・実体験を含めた周知は、市民の理解を深めることができると思う。 ほか1件
- ・何回も訓練を重ねることで、落ち着いた行動ができる可能性が大きくなると思う。
- ・実際に起こった際には、周りの人へ避難行動を伝えたい。
- ・大井川が増水していた場合などどのような行動を取ればよいのか疑問に感じた。
- ・いざと言う時、カバンや買い物カゴで保護するなど心構えができた。
- ・頑丈な建物がない場合、実際どうしようもないように感じた。
- ・知識を持って臨機応変に対応できるようにしたい。
- ・実際に起きた場合、冷静な行動が難しいのではないかと感じた。 ほか1件
- ・自分が実際にどのように避難すれば良いのかイメージができた。
- ・サイレン音を初めて聞いたが、緊張感や危機感が感じられなかった。 ほか2件
- ・防災訓練などで、実施すれば、意識付けができるのではと思う。
- ・ミサイルによる影響範囲がどのくらいなのか？
- ・店員さんの役割が大きと感じた。
- ・ミサイルの避難訓練を実施する時代に驚きを感じる。戦争が忍び寄ってきているようで、不気味だった。
- ・緊張感を持つ上で、抜き打ちで実施した方が良いのでは？
- ・突然起こり得る事態に備え、意識を高めておく必要があると感じた。

訓練参加者アンケート結果（大井川鐵道）

- ・ 訓練参加者 27 人（男性 15 人 女性 9 人 子供（乳児） 3 人）
- ・ 避難行動を取るきっかけは？（複数回答あり）
 - ① 運転手の車内放送 22 件（約 85%）
 - ② 携帯電話のメール 3 件（約 12%）
 - ③ 周りの動きにつられて 1 件
- ・ 落ち着いた行動はできたか？ Yes 24 件（全員）
- ・ 行動時間は？ 充分あった：19 件 短い：5 件
- ・ 今後も避難行動が出来るか？ Yes 13 件 No 11 件

その他意見

- ・ 停車がゆっくりだったので、安全に行動ができた。
- ・ 今回のように空いていれば避難行動は可能だが、トーマス号のように混雑している場合や子供が多いと難しいと思う。 ほか 4 件
- ・ 今回のように登録した人のみ情報を得ることができるシステムだと、実際機能しないと思う。
- ・ ミサイルは身近な事という実感が無く、今回は良い機会となった。
- ・ 子供を連れての参加で、予想以上に動きが鈍くなってしまった。 ほか 1 件
- ・ 子供が大泣きした時にアナウンスが聞きとれないか心配になった。 ほか 1 件
- ・ 今回は事前の情報で動くことができたが、実際では多分うろたえてしまうのでは？
- ・ 車椅子では、ベルトが無いと、落ちてしまうことが怖い。
- ・ 突然、こうしたことがあると行動できないかもしれない。 ほか 3 件
- ・ 長時間、伏せた状態ができない人が居ると思う。
- ・ 状況の把握や情報の真偽に時間を要するのでは？
- ・ 周りの動きにつられて動くと思う。 ほか 1 件
- ・ 本番では、「訓練ではない。」と強調するほうが良いと思う。
- ・ パニック行動への対応策等も今後検討が必要。
- ・ 訓練は大事だが、実際起きたらどうにもならないのでは？ ほか 1 件
- ・ 普段電車通勤のため、流れが理解できたことは有意義だった。
- ・ 身を守るには、最悪の事態を想定した心構えが必要。
- ・ できるだけ早く確かな情報がほしい。
- ・ 車掌がいれば、避難行動への対応が相違するのでは？
- ・ 自分で車を運転している時に遭遇した場合、不安。 ほか 1 件
- ・ メールでは現実性が無く、運転士の放送の方が行動に移すことができる。
- ・ 様々なケースがあることを広報した方が良いと思う。
- ・ いつどこで起こり得る事態に備えて心構えが必要。
- ・ 自分の身だけでなく、家族を守る大切さを改めて感じた。
- ・ 電車の中という閉鎖空間での体験は、とても良かった。